



パラマウントベッドホールディングス株式会社

2025 年 3 月期第 2 四半期決算説明会

2024 年 11 月 7 日

イベント概要

[企業名]	パラマウントベッドホールディングス株式会社		
[企業 ID]	7817		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2025 年 3 月期第 2 四半期決算説明会		
[決算期]	2025 年度 半期		
[日程]	2024 年 11 月 7 日		
[ページ数]	35		
[時間]	16:00 – 16:53 (合計：53 分、登壇：38 分、質疑応答：15 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]			
[出席人数]			
[登壇者]	2 名		
	常務取締役 CFO	木村 陽祐（以下、木村）	
	経営管理部長 兼 IR 部長	南口 雄一（以下、南口）	

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com



登壇

司会：お時間になりましたので、これよりパラマウントベッドホールディングス株式会社、2025 年 3 月期 中間期の決算説明会を開催いたします。本日はご多忙の中ご参加いただき、誠にありがとうございます。

まず初めに登壇者の変更がありますので、ご連絡申し上げます。本日登壇予定であった社長の木村が体調不良のため、代わりに常務取締役 CFO の木村陽祐が登壇いたします。もう 1 人の登壇者は、経営管理部長兼 IR 部長の南口雄一でございます。登壇者は以上の 2 名でございます。

開催に当たりまして、事務局より各種お願い、ご連絡事項を申し上げます。本説明会は、決算報告の後、質疑応答のお時間を設けております。ご質問はコントロールパネルの挙手機能、または Q&A 機能よりお受けいたします。なお、チャット機能は使えませんので、何かお困りごとがございましたら Q&A 機能にてお知らせください。また、説明会終了後に簡単なアンケートをお願いしております。ご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

それではこれより、2025 年 3 月期 中間期の決算説明について、常務取締役 CFO の木村陽祐よりご報告させていただきます。常務、よろしくお願いいたします。

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com



**介護事業が堅調に推移するも
医療事業・健康事業が想定を下回る**

**上半期の進捗等を踏まえて通期業績予想を修正
2025年3月期は増収減益を見込む**

**株主還元について2025年3月期は大幅な増配に加えて
自己株式の取得（上限180万株）と消却（約415万株）を実施**

木村：常務取締役 CFO の木村でございます。本日はご多用のところ、決算説明会にご参加いただき誠にありがとうございます。本日の説明会は私が務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

それではまずサマリーとして、本日の主な内容をご説明いたします。10月30日に発表いたしました通り、2025年3月期 中間期の売上高は期初の想定を下回り、減収の決算となりました。介護事業が想定を上回り、堅調であった一方で、国内の医療事業における病院の設備投資に対する様子見ムードや、健康事業における消費マインドの低迷が続いたことなどが影響しました。

利益面では、売上未達や原材料価格の高騰に伴う粗利減の他、急激な為替変動に伴う為替差損、連結子会社の減損損失などにより、各利益とも業績予想を下回る結果となりました。通期の業績予想につきましても、上期の進捗や直近の事業環境を踏まえて修正しております。なお、配当金の予想につきましては、変更しておりません。

また、決算に合わせて自己株式の取得と消却につきましても同時に発表いたしました。株主還元の基本方針としましては、純資産配当率4%および配当性向50%を目安とした配当に加え、市場環境等を勘案して、機動的な追加還元を行うこととしております。この方針のもと、直近の株価水準や

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

財務状況等を踏まえて、180 万株、40 億円を上限に自己株式の取得を決定いたしました。加えて、発表日時点で保有する自己株式約 415 万株の消却を 11 月 29 日付けで予定しています。

決算概要



減収減益決算

(単位：百万円)	2023.4-9 実績	予算	2024.4-9 実績	予算比	前期比
売上高	49,720	51,000	48,674	-4.6%	-2.1%
営業利益 (営業利益率)	6,480 (13.0%)	5,200 (10.2%)	4,099 (8.4%)	-22.2%	-36.7%
経常利益 (経常利益率)	7,819 (15.7%)	5,450 (10.7%)	3,454 (7.1%)	-36.6%	-55.8%
親会社株主に帰属 する中間純利益 (純利益率)	5,298 (10.7%)	3,850 (7.5%)	2,272 (4.7%)	-41.0%	-57.1%
リカーリング取扱高 ※1	16,737	18,436	18,641	+1.1%	+11.4%
EBITDA ※2	11,041	10,474	9,469	-9.6%	-14.2%

※1 リカーリングビジネスで獲得するキャッシュの合計額。※2 営業利益と減価償却費（のれん含む）の合計で算出。

WELL-BEING for all beings

5

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

それでは、決算の概要をご説明いたします。

まず、売上高につきましては、前期比 2.1%減、予算比マイナス 4.6%の 486 億 7,400 万円となりました。第 2 四半期の 3 カ月間を比較しますと、わずかに前期比で増収となったものの、第 1 四半期のマイナスを取り戻すまでには至りませんでした。

利益につきましては、営業利益が前期比 36.7%減、予算比マイナス 22.2%の 40 億 9,900 万円となり、減収減益となりました。経常利益は、急激な為替変動に伴う為替差損の計上などにより、前期比 55.8%減、予算比マイナス 36.6%の 34 億 5,400 万円、親会社株主に帰属する中間純利益は、連結子会社の固定資産の減損の影響もあり、前期比 57.1%減、予算比マイナス 41%の 22 億 7,200 万円となりました。

また、経営指標として掲げていますリカーリング取扱高と EBITDA を併せて記載しております。リカーリング取扱高は前期比 11.4%増、予算比プラス 1.1%の 186 億 4,100 万円と堅調です。EBITDA は前期比 14.2%減、予算比マイナス 9.6%の 94 億 6,900 万円となりました。

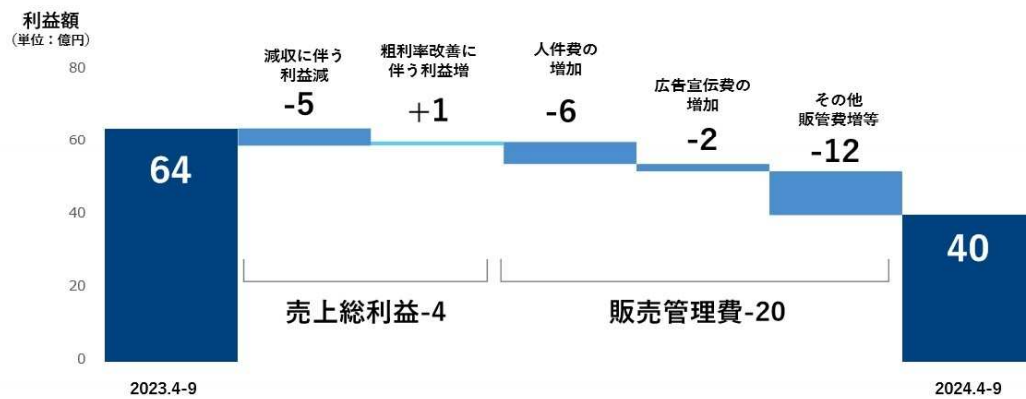
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



営業利益増減要因

販管費の増加は想定通りも原材料価格高騰による粗利率の伸び悩みや売上減少が響く



次に、営業利益の増減要因についてご説明いたします。

売上総利益につきましては、原材料費高騰により粗利率が伸び悩んだことや、売上の減少に伴う粗利減によって前年より4億円ほど減少しました。一方で、人件費や広告宣伝費などを中心に販管費が約20億円増加しました。その結果、営業利益は23億8,000万円減少の40億9,900万円となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

財務の状況

リカーリング拡大に伴い固定資産が増加

(単位：百万円)	2024.3	2024.9	増減額	前期比
流動資産	95,496	90,562	-4,934	-5.2%
固定資産	84,523	87,104	+2,581	+3.1%
資産合計	180,020	177,667	-2,353	-1.3%
流動負債	24,897	21,142	-3,755	-15.1%
固定負債	19,106	20,142	+1,036	+5.4%
負債合計	44,004	41,267	-2,737	-6.2%
純資産	136,016	136,400	+384	+0.3%
負債・純資産合計	180,020	177,667	-2,353	-1.3%

バランスシートにつきましては、ご覧のとおりとなっております。

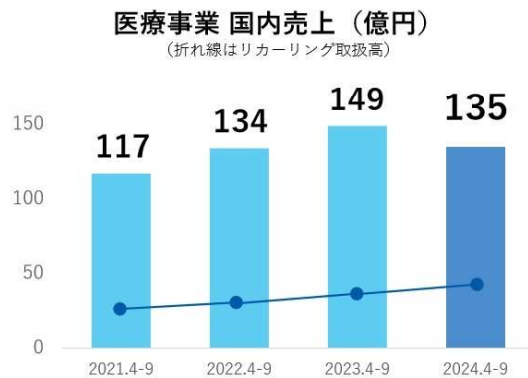
固定資産の増加は、リカーリングビジネスの拡大の他、7月1日付で子会社化したレンタル卸事業会社のレンタル用資産の増加などによるものです。純資産は3億8,400万円増の1,364億円となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

医療事業（国内）

病院の厳しい経営環境下における設備投資への様子見傾向が広がりベッド・備品の売上が減少
医師の働き方改革に伴う業務の効率化・デジタル化に資する製品・サービスは堅調に推移



常駐サービス契約病院数

110 病院 ➤ 121 病院 +10%
2023.9 2024.9

スマートベッドシステム導入病院数

36 病院 ➤ 53 病院 +47%
2023.9 2024.9

リカーリング取扱高（医療）

36 億円 ➤ 43 億円 +21%
2023.4-9 2024.4-9

WELL-BEING for all beings

9

次に、医療、介護、健康の主要3事業の業績について説明させていただきます。

まず、医療事業について、国内と海外に分けてご説明いたします。国内医療事業の売上高は前期比10%減、予算比マイナス7%の135億円となりました。国内の医療機関におきましては、常態化する人手不足への対応や光熱費の高騰など、病院経営にとって厳しい環境が続く中、診療報酬の改定時期が通常の4月から6月と2カ月後ろ倒しになったことも伴って、設備投資に対する様子見傾向が想定以上に広がり、ベッドや備品類の販売が落ち込みました。

一方で、医療従事者の労働環境の改善に向けた業務効率化やデジタル化、タスクシフトなどの取り組みは引き続き積極的に行われています。4月からは医師の働き方改革がスタートしました。ドクターの労働時間に上限が定められる中で、従来と同じ医療サービスを提供するためには、看護師を含めた医療スタッフの役割が重要となっています。

しかしながら、看護師不足は深刻な状況が続いています。この状況に対応するために、各病院では看護師を中心とした医療スタッフの労働環境の改善が急務となっています。このような背景から、当社が従来から注力してきた常駐サービスなどのリカーリングビジネスや、患者情報を電子カルテシステムにつなげて効率的に管理できるスマートベッドシステムが堅調に推移しています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

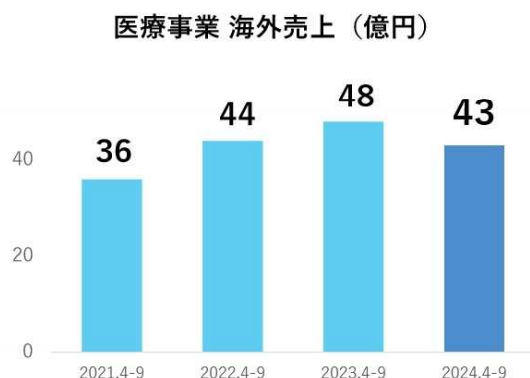
前年同期と比べて、常駐サービス契約は 11 病院、スマートベッドシステム導入は 17 病院それぞれ増加し、医療事業のリカーリング取扱高は前期比 21%増の 43 億円となりました。また、ベッドの販売につきましても、ベッド上の患者の動きを検知して、起き上がりや立ち上がり動作を知らせる離床センサー機能が付いたものなど、近年では高機能タイプの割合が高い水準で推移しています。

2 年前に実施した価格改定の効果もあり、数量の落ち込みの割には売上高は高水準を維持できていると捉えることもできると思います。国内医療事業分野では、需要の増減の影響にできるだけ左右されずに成長できる事業構造の構築に努めてまいります。

医療事業（海外）

PARAMOUNT BED HOLDINGS

インドネシアは民間病院の案件が増加
中国は前期ゼロコロナ政策明け特需の反動減



海外向けベッド販売台数

2.0万台	➤	2.0万台	+3%
2023.4-9		2024.4-9	

非連結を含むインド向け売上高

8 億円	➤	9 億円	+12%
2023.4-9		2024.4-9	

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

10

海外向けでは、売上高は前期比 10%減の 43 億円となりました。中国において、前期にゼロコロナ政策明けにあった重症患者用の病棟整備特需の反動で、特に高機能タイプのベッド販売が減少しました。また、反腐敗運動の影響で案件が延期される事例も出てきています。

一方で、インドネシアにおきましては、官公立病院に加え、民間病院の案件創出に注力してきたことで、ベッド販売台数が増加しています。なお、もう一つの注力国であるインドでは、非連結を含んだ国内売上高が 12%増の 9 億円と拡大基調を持続しています。

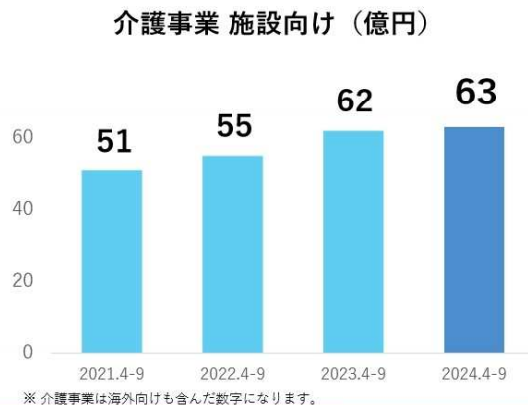
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

介護事業（施設向け）

予算を上回り堅調に推移
眠りSCANは前期比微減も想定線



眠りSCAN 中間期販売台数（介護）

1.2 万台	➤	1.1 万台	-11%
2023.4-9		2024.4-9	

眠りSCAN 累計販売台数（介護）

15.7 万台	➤	19.9 万台	+27%
2023.9		2024.9	

眠りCONNECT契約施設数

2023.10 提供開始	➤	271 施設	—
		2024.9	

WELL-BEING for all beings

11

次に介護事業について、施設向けと在宅向けに分けてそれぞれご説明いたします。

施設向けにおきましては、売上高は前期比で2%増、予算比プラス1%の63億円となりました。見守り用途で活用いただいている体動センサーの眠りSCANの販売は、前期比11%減の約1万1,000台となりました。前期比減の主な要因は、前期に多かった期ずれ案件が今期はなかったことが主な要因です。通期計画に向けては順調に推移しているものと評価しています。

眠りSCANの累計販売台数は19万9,000台となりました。また、昨年10月から提供を開始した見守り支援システムの眠りCONNECTの契約施設数は、271施設となっています。この他、ベッド販売につきましても、医療事業と同様に、離床センサー付きタイプの割合が高まっていることも増収に寄与しています。

背景には、介護スタッフ不足の深刻な状況があります。物流や建築業界を含めた2024年問題に伴う労働力の不足と、賃上げの状況から、介護業界から他業界へ人材流出が起きている影響で、多額のリクルート費用をかけてもなかなかスタッフが集められない、やっと採用して教育したとしても、なかなか定着しないということが、介護施設管理者の大きな悩みの種となっています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

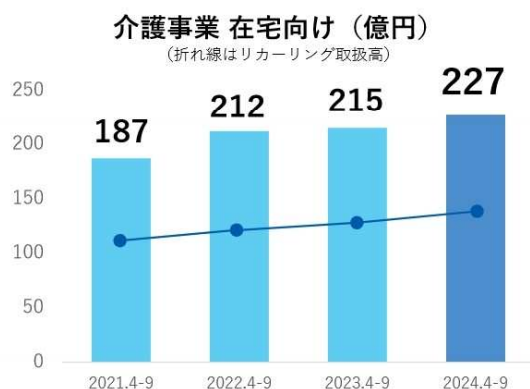
当社の眠り SCAN や眠り CONNECT、離床センサー付ベッドなどを導入した施設からは、若いスタッフの応募が増えた、離職が減ったというお声をいただくケースが増えています。また、眠り SCAN を使っているかと質問があったことで、導入を決めたという事例も出てきているそうです。

当社では他社に先駆けて見守り支援機器市場を切り開いてきた実績があると自負しています。他社製品を含めた周辺機器との連携も強化していますし、単純に提供するだけでなく、施設の状況に沿った設定方法や活用方法について丁寧にアドバイスをするなど、運用体制の支援にも力を入れています。引き続き、この分野の拡大に注力し、持続的な介護体制整備の支援に努めていく考えです。

介護事業（在宅向け）

PARAMOUNT BED HOLDINGS

福祉用具の品目拡大策が寄与、主力モデルの販売も高水準を継続
レンタル卸は7月から連結したPCS東京も貢献



※ 介護事業は海外向けも含んだ数字になります。

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

リカーリング取扱高（介護）

131 億円 ➤ 142 億円 +9%
2023.4-9 2024.4-9

レンタル卸利用者数

53.4 万人 ➤ 60.9 万人 +14%
2023.9 2024.9

WELL-BEING for all beings

12

在宅向けでは、売上高が前期比 6%増、予算比 1%プラスの 227 億円になりました。各種の福祉用具ラインナップ強化策に加え、在宅介護向けの主力ベッドの楽匠プラスシリーズが引き続き想定を上回る高い水準で推移したことが貢献しました。また、先ほどバランスシートのところでも触れました、7月1日付で連結子会社化したレンタル卸事業会社も売上増に寄与しています。

リカーリング取扱高は、前期比 9%増の 142 億円に拡大しました。また、当社グループから福祉用具をレンタル利用しているエンドユーザー数は、前期比 14%増の 60 万 9,000 人と堅調に伸びています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

健康事業

“モノ”から“コト”への行動変化や物価高に伴う耐久消費財へのマインド低迷が影響



© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

13

健康事業の売上高は、前期比 30%減の 9 億円となりました。

新製品を投入し、プロモーション活動強化にも努めたものの、モノ消費からコト消費へといった消費行動の変化や、物価高に伴う消費マインドの低迷による影響も大きく、厳しい結果となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

海外地域別売上高

(単位：百万円)	2024.4-9	2025.4-9	前期比
アジア	4,743	4,422	-7.3%
インドネシア	1,134	1,602	+41.2%
中国	2,024	1,416	-30.0%
その他アジア	1,584	1,403	-11.4%
アジア以外	539	473	-12.3%
海外連結売上高	5,283	4,895	-7.3%
海外売上高比率	10.6%	10.1%	

※ 「インドネシア」「中国」「その他アジア」の数字は「アジア」の内数になります。

WELL-BEING for all beings

14

14 ページの表は、海外の地域別売上高を記載しております。

連結海外売上高は、前期比 7%減の 48 億円となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

2025年3月期 業績見通し

通期見通しを下方修正

(単位：百万円)	2024.3 実績	期初予算	2025.3 修正見通し	期初予算比	前期比
売上高	106,016	112,000	108,000	-3.6%	+1.9%
営業利益 (営業利益率)	13,818 (13.0%)	14,000 (12.5%)	13,000 (12.0%)	-7.1%	-5.9%
経常利益 (経常利益率)	15,920 (15.0%)	14,500 (12.9%)	12,500 (11.6%)	-13.8%	-21.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (純利益率)	10,622 (10.0%)	10,100 (9.0%)	8,500 (7.9%)	-15.8%	-20.0%
リカーリング取扱高 ※1	34,056	38,200	38,200	0%	+12.2%
EBITDA ※2	23,583	25,031	24,031	-4.0%	+1.9%

※1 リカーリングビジネスで獲得するキャッシュの合計額。※2 営業利益と減価償却費（のれん含む）の合計で算出。

それでは次に、2025年3月期通期の見通しについてご説明いたします。

先週の決算と同時に、通期業績予想の修正を発表いたしました。よりタイムリーな情報開示を積極的に進めていく中で、上半期の進捗や各事業の環境変化、現在進めている利益向上策などの取り組み状況を反映し、見直しをしました。

修正後の連結売上高は、期初予算と比べると3.6%減、前期比では1.9%プラスの1,080億円といたしました。営業利益は前期比5.9%減の130億円、経常利益は前期比21.5%減の125億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比20%減の85億円を見込んでいます。

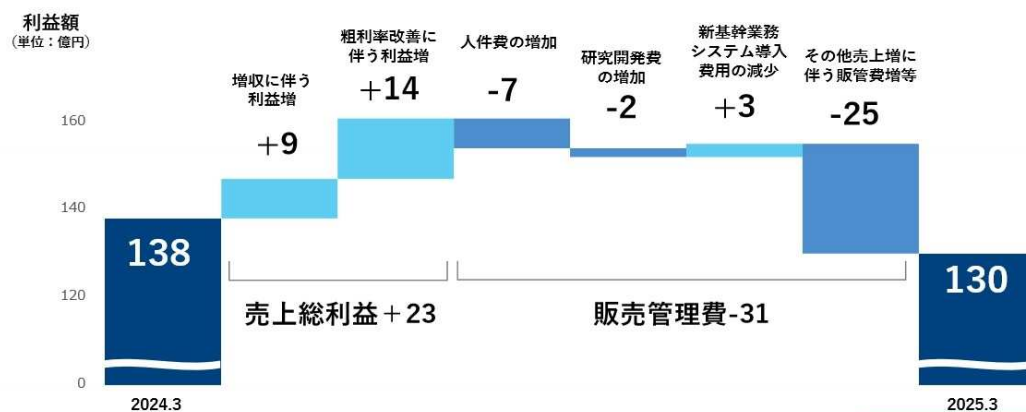
経営指標であるリカーリング取扱高につきましては修正しておりません。前期比12.2%増の382億円、EBITDAは前期比1.9%プラスの240億3,100万円の計画となります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

2025年3月期 営業利益増減要因

各種価格の適正化活動など収益向上策に注力



© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

17

次に営業利益の増減要因についてご説明いたします。

売上総利益は、売上増と粗利率の改善により 23 億円増加する計画です。現在、各種価格の適正化活動を進めておりまして、その効果も見込んでいます。

具体的な取り組みとしては、物流費や資材費、人件費などインフレに伴い直近で上昇しているコストについて、一部製品やパーツ価格の他、当社から請求させていただく送料や作業費、常駐サービスなどの契約単価にも相応に反映するといった活動を進めています。

販管費につきましては、今期は基幹業務システムのリニューアルに伴う費用の伸びが一服するものの、業容拡大に伴う人件費や広告宣伝費、将来成長に向けた研究開発費の他、各種インフレに伴う費用の増加で、期初計画どおり、合わせて 31 億円増える予定です。営業利益は前期比で 8 億円マイナスの 130 億円となる見通しです。

それでは事業別に説明させていただきます。なお、修正した通期見通しの事業別の各種指標につきましては、補足資料にもまとめております。当社ホームページの投資家向け情報、IR イベントから決算説明会ページをご参照ください。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

医療事業（国内）見通し

回復傾向も期初の想定は引き下げ
業務の効率化・デジタル化関連は引き続き拡大を見込む



常駐サービス契約病院数

113 病院 ➤ 125 病院 +11%
2024.3 2025.3

スマートベッドシステム導入病院数

46 病院 ➤ 76 病院 +65%
2024.3 2025.3

リカーリング取扱高（医療）

74 億円 ➤ 86 億円 +15%
2024.3 2025.3

WELL-BEING for all beings

18

まず国内の医療事業についてご説明いたします。

売上高は期初予算に比べて6%マイナス、前期比で2%減の303億円といたしました。商談や受注の状況からは改善の兆しが見えつつある状況ですが、医療機関を取り巻く経営環境は、光熱費や人件費の高騰などで非常に厳しい状況が続いており、上半期の遅れを取り戻すまでは難しいと判断しました。

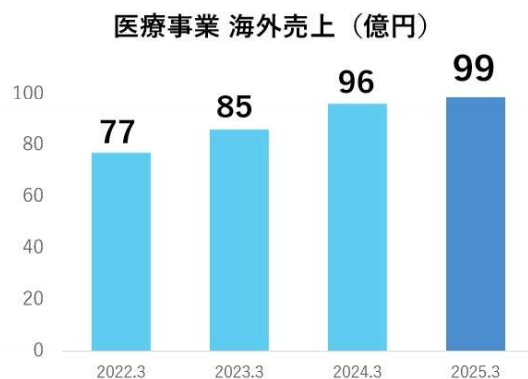
一方で、業務の効率化やデジタル化に資する製品・サービスは、上半期に引き続き堅調に動いていく見込みです。常駐サービス件数は、前年に比べ12件増加の125病院、スマートベッドシステム導入件数は30件増加の76病院にそれぞれ拡大する他、リカーリング取扱高は前年比15%増の86億円を見込んでおりまして、これらは期初計画から変更はございません。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

医療事業（海外）見通し

中国の不透明要素を鑑み見通しを修正
インドネシア・インドを中心に拡大へ



海外向けベッド販売台数

4.0万台 ➤ 4.6万台 +13%
2024.3 2025.3

非連結を含むインド向け売上高

17 億円 ➤ 19 億円 +14%
2024.3 2025.3

WELL-BEING for all beings

19

海外向けは、期初予算に比べてマイナス5%、前期比では3%増の99億円を見込んでいます。中国では、先ほどもお話した反腐敗運動に加えて、景気低迷も影響し、不透明な状況が続いています。政府による経済対策の話もありますが、当面は厳しい状況が続くものとみています。

一方で、インドネシアでは引き続き、民間病院を含めた案件創出活動に注力してまいります。従来は比較的規模の大きい政府案件の割合が大きかったのですが、そうになると、どうしても年度ごとの売上のばらつきが大きくなってしまいう課題がありました。さらなるシェアアップを図り、政府案件の規模に左右されにくい体制の構築を目指していきます。

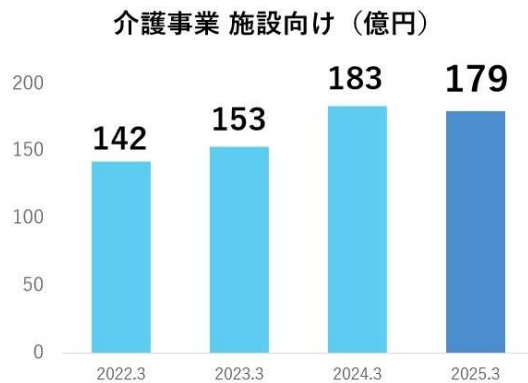
なお、注力国であるインドの非連結を含めた売上高は、前年比14%増の19億円の計画です。インドでは先日新工場を竣工し、一部ラインの稼働がスタートしました。来年の本稼働に向けて計画どおり進捗しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

介護事業（施設向け）見通し

通期売上高見通しを予算比で上方修正
見守り支援関連の拡大に注力



※ 介護事業は海外向けも含んだ数字になります。

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

眠りSCAN 年間販売台数（介護）			
4.3 万台	➤	4.6 万台	+6%
2024.3		2025.3	
眠りSCAN 累計販売台数（介護）			
18.8 万台	➤	23.4 万台	+24%
2024.3		2025.3	
眠りCONNECT 契約施設数			
2023.10 提供開始	➤	677 施設	—
		2025.3	

WELL-BEING for all beings

20

介護事業の施設向けにつきましては、前年比 3%減の 179 億円を見込んでいます。上半期の進捗を踏まえて若干上積みしました。眠り SCAN につきましては、年度末に向けた案件数が前期を上回るペースで積み上がっておりまして、良いペースで進捗しています。

眠り SCAN は販売だけでなく、レンタルでの提供も始めていますので、レンタル割合が増えると短期的には収益計上が小さくなりますが、中長期的に見るとリカーリング型への転換が進むことになります。眠り CONNECT とも併せて今後も積極的に普及を進めてまいります。

10 月からは、従来 NEC プラットフォームズ社が提供していた排泄自動記録システムの事業を当社が手がけることになりました。また、当社製品として体重を自動測定できるベッドや、オムツタイプの排泄管理センサーを計画しています。

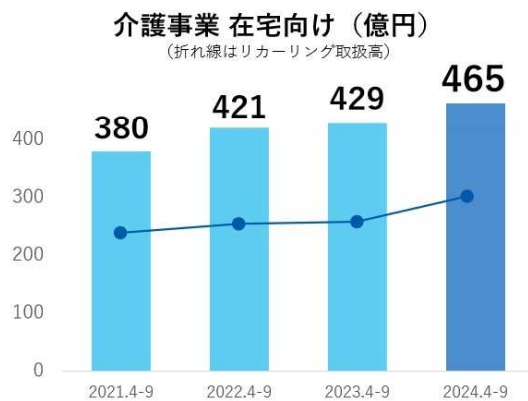
これらでセンシングした情報を眠り CONNECT に連携させることで、将来的には利用者や居室の情報を総合的に管理できる介護 DX のプラットフォームにしていく計画です。詳しい内容は後ほどトピックスにてご説明したいと思います。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

介護事業（在宅向け）見通し

レンタル卸事業の利用者数は堅調に拡大
オリジナル商品を拡充し中長期的な競争力強化と収益性改善へ



※ 介護事業は海外向けも含んだ数字になります。

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

リカーリング取扱高（介護）

265 億円 ➤ 294 億円 +11%
2024.3 2025.3

レンタル卸利用者数

55.3 万人 ➤ 63.0 万人 +14%
2024.3 2025.3

WELL-BEING for all beings

21

次に、在宅向けは前年比 8%増の 465 億円の計画です。こちらも施設向け同様に上方修正しました。7 月から連結しておりますレンタル卸事業のパラマウントケアサービス東京も寄与し、レンタル卸のリカーリングビジネスは引き続き拡大を続けてまいります。

リカーリング取扱高は 11%増の 294 億円、レンタル卸利用者数は 14%増の 63 万人をそれぞれ見込んでいます。パラマウントケアサービスでは、オリジナル商品ラインナップの拡充を中長期的な成長戦略として進めています。こちらの内容も後ほどトピックスにてご説明いたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

健康事業見通し

再成長に向け戦略の再構築へ



© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

22

健康事業は早期の回復が難しいとの判断から計画を大幅に見直し、売上高は前年比マイナス 10% の 20 億円としました。取り組んでいるプロモーション強化策につきましては、ウェブサイト閲覧数の増加や認知度の向上など、一定の成果は出てきているのですが、最終的な購買行動にいかにつなげるかという観点ではまだ課題が多い状況です。

ここ数年は 20 億円規模の売上で踊り場の状況となってはいますが、将来的には医療・介護に次ぐ第 3 の柱と呼べるような事業規模にすることが、当社グループの大テーマの一つであることは変わっていません。

医療・介護分野で培った知見という当社グループの強みや独自性を、睡眠を軸とした健康分野というより裾野が広く、制度の制約がないマーケットで展開し、拡大していくことが当社グループの企業価値向上につながるものと思っています。戦略の見直しを含め、中長期的な再成長に向けた取り組みを進めていきます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

海外地域別売上高

中国の不透明要素を反映し見通しを修正

(単位：百万円)	2024.3	2025.3	前期比
アジア	9,271	9,690	+4.5%
インドネシア	2,833	3,675	+29.7%
中国	3,506	3,077	-12.2%
その他アジア	2,931	2,937	+0.2%
アジア以外	1,333	1,309	-1.8%
海外連結売上高	10,605	11,000	+3.7%
海外売上高比率	10.0%	10.2%	

※ 「インドネシア」「中国」「その他アジア」の数字は「アジア」の内数になります。

WELL-BEING for all beings

23

海外の地域別売上高はご覧のとおりです。中国市場における不透明要素などを鑑み、連結海外売上高は期初予算に比べて5億円引き下げました。前期比3%増の110億円となる見通しです。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

設備投資等

設備投資は2025.3期もIT関連投資が高水準

(単位：百万円)

	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3
設備投資	1,822	3,653	3,643	4,425
減価償却	7,898	8,482	9,765	11,031
研究開発	1,697	1,753	1,975	2,158
従業員数 (単位：人)	3,682	3,946	4,126	-

設備投資等の指標をまとめています。

おおむね期初計画どおり進捗しています。今期の設備投資は新製品金型や基幹業務支援システム、IT 関連機器の更新などが重なっておりまして、通常より多めの予算となっています。減価償却費につきましては、医療事業や介護事業のリカーリングビジネスで使用している資産の償却が多くを占めていまして、引き続き拡大させていく計画です。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

株主還元

株主還元方針

配当はDOE4.0%・配当性向50%を目安
株価や市場環境を勘案した機動的な追加還元



次に、株主還元についてご説明いたします。

当社グループは、株主の皆様への利益還元を経営の重要な政策と位置付けています。今年の5月に配当金額の水準を大幅に見直しました。今年度から純資産配当率4%と配当性向50%を目安に決定することとしています。加えて、株価や市場環境等を総合的に勘案しながら、必要に応じて機動的な追加還元を随時検討してまいります。

このような基本方針のもと、今回の決算発表に合わせて、自己株式の取得と消却に関する決定をいたしました。自己株式の取得につきましては、自社保有分を除く発行済株式総数の3.1%に当たる180万株、40億円をそれぞれ上限として、来年の3月末までの期間、市場買付にて実施いたします。

消却につきましては、発表日時点で保有していた約415万株、比率にして6.7%分について、11月29日に消却することを決定しております。今後につきましても、株価や資本効率を含めた総合的な判断のもとに、引き続き、機動的な追加還元を検討していく考えです。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

キャッシュアロケーション

第IIフェーズ期間累計



株主還元

配当は純資産配当率(DOE)4.0%と配当性向50%を目安
株価や市場環境等を勘案した機動的な追加還元を検討

成長投資

顧客との継続的な関係を強化するリカーリング資産
生産設備や福祉用具メンテナンス設備増強／新基幹
システム導入促進
事業発展に向けたCVC投資などを含めた他社連携を
積極的に展開

<手元資金水準の考え方>

月商約3か月分の運転資金

+ 災害等発生時においても医療・介護に貢献する
製品やサービスを継続的に提供できる体制の維持

第IIフェーズ、3年間のキャッシュアロケーションプランにつきましては、変更していません。還元強化だけでなく、将来の成長に向け、ストック型ビジネスへの転換を図るための投資を引き続き強化していく他、CVCを通じた投資も積極的に進めてまいります。キャッシュアウトの消化分は手元資金を充当いたします。

最後にトピックスといたしまして、介護事業について、施設向け、在宅向け、それぞれの取り組みについてご説明したいと思います。

先日、ニュースでも取り上げられていましたが、介護事業者の倒産件数が2年ぶりに過去最高を更新する見通しとなっています。この要因として、慢性的な人手不足が介護事業者の経営を圧迫していることが挙げられています。先ほど事業別業績のところでお話しましたとおり、介護業界から他業界への人材流出が顕著な中、介護報酬による手当のスピードが追いつかず、先行き不安感がさらに高まっています。

そのような中、事業者同士の連携やM&Aを含めた業務効率化やデジタル化などによる生産性向上は待ったなしの状況になっています。当社グループは、眠りSCANやベッドに内蔵した離床セン

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

サー機能など、従来から事業者や介護従事者の業務効率化や負担軽減、入居者の快適性、安全性向上に資する製品・サービスの開発に努めてきました。

眠りCONNECTの進化を加速

PARAMOUNT BED HOLDINGS

眠りCONNECTと連携できる介護施設向け製品・サービスを拡充

・ 7月 : 介護施設向け業務量記録アプリ「ときKANRI」

- ・ スマートフォンでワンタップで簡単に記録
- ・ 自動グラフ生成・スタッフ間比較も一目で把握
- ・ 「生産性向上推進体制加算」対応



・ 10月 : NEC排泄自動記録システムの事業譲渡

- ・ トイレ利用者の着座や退座、排泄状況を自動で検知
- ・ 排泄検知の通知と排泄内容の自動記録
- ・ 共同トイレでの利用者識別が可能



・ 11月 : 体重自動測定機能付きベッド

「エスパシアシリーズ 体重記録機能付き」

- ・ ベッドから乗り降りするたびに体重を自動測定
- ・ 利用者の日々の体重の変化を可視化
- ・ 離床CATCHに「端座位予報検知」機能が追加



© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

28

昨年10月には、クラウドで管理でき、拡張性を高めた見守り支援システム眠りCONNECTの提供を開始しました。今年度は眠りCONNECTと連携できる製品やサービスの開発を進めています。

7月には業務量記録アプリのときKANRIの提供を開始しました。介護業務の内容や時間を簡単操作で記録することができるスマートフォンアプリです。わかりやすいグラフや表を自動生成できる他、介護報酬の生産性向上推進体制加算の申請にも対応しています。

10月には、先ほどもご紹介したように、NECプラットフォームズ社が提供してきた排泄自動記録システムの事業を買収しました。排泄物の記録は介護スタッフにとっても、また入居者にとっても精神的な面も含めて大きな負担となっていました。このシステムは、どの入居者がいつどのような排泄を行ったかを自動で記録することができるので、スタッフの目視確認が不要になります。

利用者の識別ができるので、個室だけでなく、共同トイレでも利用することができます。便器への着座や立ち上がりも検知できるので、トイレにおける見守り用途としても活用されています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

また今月末には、ベッドから乗り降りするたびに体重を自動測定し、記録するベッドを販売いたします。これらは全て眠り CONNECT との連携が図られる予定です。

眠りCONNECTの進化を加速

PARAMOUNT BED HOLDINGS

介護DXのプラットフォームへ



© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

29

他にも、居室の温度や湿度、ドアの開閉などがわかるセンサーや、他社のナースコールやインカムシステムなどとの連携も進めています。利用者の情報を眠り CONNECT に集約し、一元管理することで、入居者、介護スタッフ双方の負担を大幅に軽減できるようになります。

今後も連携できる製品の開発や他社連携を進め、さらには AI を活用して集約されたデータをもとに、利用者の総合的な健康管理や施設運営支援につなげていく考えです。介護施設全体の質と生産性の向上に貢献できるインフラとなるべく、介護 DX のプラットフォーム構築に努めていきます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

パラマウントケアサービス、オリジナルブランドを策定



オリジナルブランド「PARACARE-SELECTION-」をスタート



「一人ひとりに合わせた最適な福祉用具」を表現するマークで
パラマウントグループだからこそできる新しい価値提供を目指す

© PARAMOUNT BED HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WELL-BEING for all beings

最後に、在宅介護向けにレンタル卸事業を行っているパラマウントケアサービスのオリジナルブランド商品の取り組みについてご説明いたします。

パラマウントケアサービスは売上高が順調に拡大しているものの、近年のインフレ状況では利益成長の面で厳しい状況にあります。その背景として、福祉用具のレンタル卸事業が介護保険制度の枠組みの中で行うビジネスということが挙げられます。

例えば、利用者へのレンタル価格は用具ごとに上限価格が決められている他、要介護度に応じて利用できるサービス金額の枠が定められています。このような制約のため、インフレに伴う費用増の価格転嫁が現実的には難しい状況です。

またもう一つ、レンタル卸事業の課題として、商品による差別化戦略が難しいという点が挙げられます。例えば、好評いただいているパラマウントベッドの主力ベッドの楽匠プラスシリーズは、どの卸会社のカタログにも掲載されています。品目自体は同じものを取り扱っているため、どうしても価格競争やサービス競争が激しくなってしまうがちです。

このような課題への対応策として、パラマウントケアサービスではオリジナル商品の拡充に努めてきました。他の事業会社では取り扱いがなく、機能性に優れ、品質の高い商品を取り揃えるという

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



ことは、トップメーカーであるパラマウントベッドが同じグループだからこそできる大きな強みです。

このたび、さらなる認知向上を目指し、オリジナル商品のブランドの PARACARE-SELECTION-を新たに掲げました。今後はこのブランドを前面に出して営業活動を展開してまいります。また、PARACARE-SELECTION-ブランドのオリジナル商品を継続的に投入しながら、ラインナップを拡充していくことで、その時々 of 適正な価格を反映していく考えです。このような施策を行いながら、当社グループレンタル卸事業の競争力向上と収益性の改善を図ってまいります。

以上で私からのご説明を終了させていただきます。ありがとうございました。

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用をしてはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

